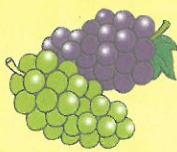


# はこだてシルバーだより



● 写真同好会作品 ●



平成25年9月号



秋号 No. 96

● “手”が足りない。そんな時はシルバー人材センターへ！

シルバー人材センターの親切・丁寧・確実な仕事振りは必ず皆様のお役に立ちます。

豊かな経験と能力を生かし、幅広いお仕事をいたします！

函館市若松町33番6号（函館市総合福祉センター 2階）

電話（0138）26-3555

FAX（0138）23-7531

E-mail：hakosc@sjc.ne.jp



「第四回理事会」報告  
七月三十一日開催

★報告事項

- (1) 正会員及び賛助会員の入会について(平成二十五年度四月～六月)
- (2) 事業運営状況報告について
- (3) 正副理事長及び常務理事の自己職務執行状況報告について
- (4) 安全就業推進大会及び清掃活動について
- (5) 旅行会について
- (6) 健康保険法改正に伴うシルバー事業の適正運営について
- (7) 統計資料について

★協議事項

- (1) 函館市への要請活動について

以上、報告事項七件と協議事項一件を審議し、承認されました。

◎主な内容は次のとおりです。

- ・六月末現在の正会員は千十六名、賛助会員は五件増え五十三団体となっております。
- ・事業運営状況については、業務上の事故の件数はすでに十三件となっており、とりわけ機械除草の事故が五件と、早急な対策、会員の意識改革、自覚が求められます。

・四半期の事業実績については、公共事業の見直し、業務の減等で昨年度と比較で五・一％の減となっております。

・要因としては、機械除草における公共機関からの業務の減、剪定作業では就業会員の高齢化、退会で発注業務に対応できないため技術者の育成に時間を要することが考えられます。

・サン・リフレ函館の四半期での利用者、使用料とも前年度を下回っています。

・公益社団法人移行により昨年から執行役員が定期的に自己職務状況を理事会へ報告することになっており、正副理事長、常務理事から状況報告を受けました。

・安全就業推進大会は多数の参加を得て開催され、会員の事例発表、函館市交通指導員の「高齢者の交通安全」と題し、交通ルールの再認識等、有意義な内容でした。清掃活動は雨天により中止になりました。

・旅行会は、会員厚生部会で検討の結果、十月四・五日の二日間、二セコ温泉に決定しました。会員多数の参加をお願いします。

「社会の支え手」を實踐する

シルバー事業への支援を

函館市長へ要望

地域社会に密着した就業機会を確保提供し、高齢者の生きがいの充実、社会参加による地域活性化をめざすシルバー人材センターへの支援について、八月二十日(火)片岡格函館市副市長へ要望いたしました。

これは、平成二十五年度全シ協の定時総会において、シルバー事業が国及び地方自治体の補助金の減額などから、厳しい運営に陥っているため、

- (1) 補助金の確保と公共事業の発注
  - (2) 派遣契約期間の適用除外
- の二点について決議が行われ、全国のシルバー人材センターが統一して要望することになりました。

当センターでは、国の二度にわたる事業仕分けによる補助金の削減、更に景気回復の遅れなどによって受注額の減少傾向が続いていることから、この度、渡部理事長、中田副理事長が直接要望書を提出いたしました。

特に、渡部理事長からは来年度

の予算編成にあたって、センターに対する事業発注への支援と、補助金の確保についての要望に対して、片岡副市長から、高齢化社会にあつてこれまでも施設管理業務など多くの事業をセンターへ委託しているほか、補助金についても出来る限り努力していくとの回答をいただきました。

なお、契約事項のうち「派遣契約期間の適用除外」について、当センターでは派遣事業へは参入しておりませんが、今後適正就業を促進するため、検討していくことになっております。



渡部理事長から片岡副市長へ要望書提出



# 賛助会員の皆様

# ありがとうございます

賛助会員の皆様には、シルバー人材センター事業に深いご理解を賜り心からお礼申し上げます。

今後とも、シルバー事業の発展のため、種々ご指導、ご協力をお願いいたします。

平成25年8月31日現在 (敬称略・順不同)

団 体 名	団 体 名	団 体 名
三 浦 商 会	黒 島 綜 合 事 務 所	山 一 食 品 株
株 道 水	函 館 山 ロ ー プ ウ ェ イ 株	建 物 検 査 事 務 所
株北海道銀行函館駅前支店	南 北 海 道 ヤ ク ル ト 販 売 株	東 興 ア イ テ ッ ク 株
株 松 本 組	株 エ ス イ ー シ ー	株 函 館 国 際 ホ テ ル
株 函 館 丸 井 今 井	株 ケ ー エ ス 北 の 星 観 光 バ ス	弘 南 観 光 開 発 株 函 館 営 業 所
江 差 信 用 金 庫 函 館 支 店	有 三 和 印 刷	道 南 石 油 株
株 高 木 組	小 野 自 動 車 工 業 株	株 布 目
有 新 谷 商 会	北 海 道 旅 客 鉄 道 株	イ シ オ 食 品 株
株 藤 山 製 材 所	有 道 活 印 刷	株 日 本 一 金 物 店
株 は こ せ き	株 ホ テ ル 函 館 ロ イ ヤ ル	株 ヤ マ カ 下 河 原 商 店
有 湯 ノ 浜	社 函 館 市 社 会 福 祉 協 議 会	株 近 藤 商 会
(一社)函館市母子寡婦福祉会	有 ニ ッ コ ー 事 務 機	函 館 環 境 衛 生 株
野口観光マネジメント株 湯元 啄木亭	函 館 清 掃 事 業 協 同 組 合	<b>新 規 加 入</b>
株 長 門 出 版 社	五 稜 郭 タ ワ ー 株	有 吉 田 林 業
テ ス コ 株 函 館 支 店	函 館 空 港 ビ ル デ ン グ 株	株 五 島 軒
株 ド ー コ ン	(一社)函館国際観光コンベンション協会	辻 商 事 株
株 綜 合 事 務 機	ホ ン ダ カ ー ズ 南 北 海 道 株	函 館 市 役 所 職 員 労 働 組 合
K A あ き も と	株 不 二 屋 本 店	連 合 北 海 道 函 館 地 区 連 合 会



平成25年度

# 安全就業推進大会

## 会場Ⅱ函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭)

平成二十五年度安全就業推進大会が七月二十五日(木) 函館市芸術ホールを会場に、会員百五十七名が参加して開催されました。本大会は、全国シルバー人材センター事業協会が定めた「安全就業強化月間」事業の一環として毎年実施しています。大会は、斉藤正良安全・適正就業副委員長の開会宣言で始まりました。

次に、中田俊一安全・適正就業委員長より



「安全はすべてにおいて優先することを基本に、安全に対する意識を高めると共に、加齢による注意力と体力の低下を自覚し健康管理と体力の維持に努め、常に慎重で的確な就業をお願いする。」との挨拶がありました。

続いて、安全標語入選者の表彰が行われました。今年度は、四十

六名の会員から百四点の応募があり、最優秀作品一点、優秀作品四点が選ばれ、入選者に表彰状と記念品が授与されました。

### 会員事例発表

#### 「先輩から学んだ安全就業」

松橋 弘子 会員

現在、サン・リフレ函館の清掃班の一員として十二名の仲間と交替で就業している。始業前には、ミーティングを行い、作業会員の健康状態、作業手順、清掃器具類の安全点検、整理整頓などを確認している。多数の方々が出入りする施設においては、仲間との連携を密にして安全で快適な利用提供に努めている。アリーナにおいて競技大会等の開催時は、清掃中にお客様



を心掛けています。

一般家庭では、貴重な財産を傷や汚損から守るため、床・壁・家具等の調度品をバスタオルで養生しお互いに声掛けをしながら丁寧な清掃を心掛け、お客様に信頼されるように努めている。

これまで五年余り無事故で就業できたことは先輩方々の教えの賜物であり、初心を忘れないで頑張りたい。

結びに「加齢による体力の衰えは気力との戦いであるが、仕事は若さと健康の秘訣と思いい、今後も安全的確な業務に努力・精進して参りたい。」と決意を述べました。



が時間前に入館し、玄関フロアー、通路、トイレが混雑するが、焦らず、清潔で丁寧な仕事

### 講演

#### 「高齢者の交通安全教室」

函館市市民部交通安全課

交通指導員 堀 裕美氏

鈴木 千歳氏

交通事故による死者が依然として高齢者に多いことから、今回の講演は、「高齢者の交通安全教室」と題して、交通統計と原因についてお話をいただきました。講師の説得力のある語り口に参加者が熱心に耳を傾けていました。

昨年一年間の事故件数は全国で約六万六千件発生し、死者数は、約四千四百人(一日あたり十二人が死亡)であり、その数が年々減少してきているが、まだ多い状況が続いている。死者数を年齢層別に見ると、六十五歳以上が半数を上回っている。

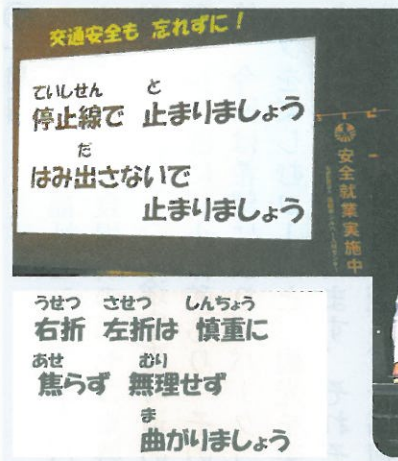


事故が起こる原因は、ドライバーが周りの状況を見て判断する能力が欠如しているためで、特に



高齢者は、認知ミス・判断ミス・操作ミスが増えてくる傾向にあるので、脳の活性化を図ってほしい。結びに「止まって安全確認を行い、ルールを守り、自分の命、他人の命を守りましょう。」で講演を終わりました。

鈴木指導員の掛け声と音楽に合わせて脳の活性化を図るため早口言葉を実践しました。



講演の後には、安全・適正就業委員の紹介を行い、安全標語の入選作品を参加者全員で唱和して無事故を誓い合い、坪谷正一安全・適正就業副委員長による閉会宣言で大会は終わりました。



平成二十五年度  
**安全標語入選作品**

最優秀賞

「今日も無事故で高まる信頼  
明日につながる安全就業」

齋藤 道男 会員

優秀賞

「慣れた作業に落とし穴  
一歩先読む 安全意識」

加藤 寛之 会員

「指先呼称で安全確認  
みんなで築こう無事故の絆」

吉田 健悦 会員

「潜む事故  
慣れと過信と油断から！」

野尻 勉 会員

「二人一人の会員が  
意識を持つて安全作業」

山下トミエ 会員



● 事故報告について

平成二十五年九月二日現在の事故発生件数は、傷害事故五件、賠償事故七件、その他の事故四件の計十六件です。就業中の「うっかり」や注意散漫による「確認不足」が原因となっています。

【傷害事故発生状況】

- ① 歩道を自転車で行く中にタクシーのドアが突然開き左足太ももにドアが当たり左大腿部挫傷通院
- ② 横断歩道を自転車で渡っていたところ、左折車と自転車の前輪が接触し転倒、臀部挫傷通院
- ③ 剪定作業を行うため歩み板がわりの梯子が折れて地面に転落、右足骨折で入院
- ④ 公園内で作業中に蜂に刺されて通院（二件）

【賠償事故発生状況】

- ⑤ 公園で男子便所を清掃中に排水部分のトラップ破損
- ⑥ 機械除草作業中の事故（六件）  
・ 灯油配管破損 ・ 建物外壁破損  
・ 自動車破損（四件）

【その他の事故発生状況】

- ⑦ 自動車運転事故（四件）  
・ 木製の柵に接触 ・ 電柱に接触  
・ 右折中に直進車と衝突  
・ シャッターの支柱に接触

**清掃奉仕活動雨で中止**

今年度第一回目の清掃奉仕活動を、安全就業推進大会と合同で健康ウォーキングとして予定していましたが、雨のため中止となりました。

近年、函館は観光都市の名の通り、各町会等のボランティア活動により以前ほどゴミのない街へと変化してきており、芸術ホール周辺も少ないとはいえゆったりとウォーキングしながらごみを探すと、ちりも積もれば山：数袋になります。

緑の中をリラククスしながら歩くことは健康にもとても大切なことです。次回は晴天の下、函館の街をきれいにしてお手伝いができたらと思っております。

今年度第二回目の清掃奉仕活動を、左記のとおり予定しておりますので、お誘い合わせの上ご参加願います。

**第二回 清掃奉仕活動**

- ・ 日時：十月十九日（土）  
午前八時三十分～
- ・ 場所：市内五カ所予定

※詳細は地域班の配付資料をご覧ください。





# 会員厚生部会コーナー

旅行会詳細

## 二セコ温泉バスの旅

地域班を通して案内しましたが、今年度の旅行会は、十月四日(金)五日(土)のバスに揺られて行く二セコへの旅に決定いたしました。

### ◎一日目

函館市総合福祉センターからバスに乗り、昼食場所の二セコ東啓園へ向かいます。(途中森町道の駅・長万部にて小休憩あり)その後、今回は希望により、パークゴルフを楽しむコースと、観光を楽しむコースに分かれます。それぞれ楽しんだ後は、合流して一路宿泊先の二セコグランドホテルへ。温泉に入っただけたりくつろぎ翌日の二日酔いを覚悟で懇親会を楽しみます。



### ◎二日目

昨晚の楽しい笑顔と一転、眠い目をこすりつつバスに乗り込み、二セコ道の駅での買い物



楽しんだ後、長万部物産センターでのバイキングの昼食へと向かいます。ばんばんになったおなかを抱えて再びバスに揺られ帰路につきます。また一つ、楽しい思い出を作ってくださいと思います。

## 会員の集い

☆日時 十一月二十一日(木)

午前十一時三十分～

(受付：十時三十分～)

☆会場 湯の浜ホテル

☆会費 二、五〇〇円

(お弁当・飲み物付)

※当日は、十時三十分から入浴できます。毎年恒例の会員の集いの季節が近づいてきました。ゆつくり温泉に浸かるもよし、ゲームで頑張つて商品をゲットするもよし、冬になる前のひとときを仲間とともに笑顔で過ごしましょう。  
なお、参加申込みは十月中旬下旬、地域班を通して案内いたします。

## 函館こども学園

### お楽しみ会

開催

七月二十三日(火) 東富岡会館

「函館こども学園」では、小学三年生～六年生を対象に国語と算数の補習教室を開催しております。今年三月に末広教室を閉鎖し、現在、東富岡会館にて三名の児童が元気に通園しております。



年一度のおたのしみ会も例年は教室の垣根を超えて全体で実施しておりましたが、今年度初めて、保護者と児童の兄弟を迎えて、ゲームだけではなく発表会も兼ねた交流の場となり、児童も、家族がいるためか終始リラックスムードで楽しんでいました。

天野講師の手話クイズ、齋藤講師の紙芝居に保護者も真剣な表情です。今回、初めての家族と一緒のおたのしみ会は、学年を超え笑顔のまま幕を閉じました。



釣れた釣れた!

齋藤講師の司会進行で自己紹介からスタートし、橋本講師製作の魚釣りゲームで親子そろって協力し、大いに盛り上がりました。続くダーツ、

すごろくで得点を重ね、ここでは算数の勉強も忘れません。合計点数を児童に暗算してもらい、得点係の天野講師に確認です。おやつタイムでは終始にぎやかに菓子を食べつつ話に花を咲かせ、みんなの笑顔も最高潮となりました。続く児童の発表会では、お金をかけなくてもこんなにも楽しいことを教えてくれたキャップでタワー、なるほど、の声に沸いたなぞなど、どこで覚えたのかびつくりのマジックなど、とても楽しい時間が過ぎ、



迫真の演技に聞き入ります



さあ、倒さないように!





# 総合福祉センターまつり



「第十九回函館市総合福祉センターまつり」が八月十八日(日)予定どおり開催され、雨天にもかかわらず大勢の人が訪れました。



当シルバー人材センターは三箇所にイベントコーナーを設け、事務所前の

「野菜コーナー」では、会員が雨の日も風の日も心を込めて耕し、収穫した新鮮なじゃがいも・きゅうり・南瓜・ピーマンなど数多くの品々を揃えた野菜や、毎年人気の高い塩蔵ワラビ・草大福・ベコ餅・小豆と甘納豆の赤飯・炊き込みご飯などを販売しました。



が心配されましたが十時のオープンと同時に多くのお客様が押しかけ、賑やかな雰囲気につつまれ、陳列した全品が完売するほどの大盛況となりました。

また、事務所内では、「相談コーナー」を設け、高齢者の求職相談やシルバー人材センターの事業に関する照会への対応や「手作り実演コーナー」では、ピンボール・エコバック・ミニ財布・万華鏡の作り方などの紹介・指導を行いました。



第二会議室(二階)では、「展示・即売コーナー」を設け、会員

力作の油絵・書・写真・切手貼り絵・寄せ木細工・和裁など多種多様にわたる作品を展示し、会場を訪れた方々は一つ一つ丹念に作製された作品に驚いていました。中には作品の前で足を止め、物珍しそうに写真に納める方もいるほどでした。また、観葉植物や手作りの小物・七宝焼きブローチ・ペンダントなど各種手工芸品も合せて即売しました。



あいにこの雨にもかかわらず、貴重な時間を割いてご来場いただいたお客様、積極的にご協力いただきました皆さまの皆様に心からお礼と感謝を申し上げます。

## 私達が編集委員です!

毎回様々な情報をお届けしている「シルバーだより」ですが、今回から新たな編集委員でスタートします。



左から斉藤委員、山本委員長、相田副委員長

五月の役員改選後、新たに委員を決定し、総務部会理事一名、事業部会理事一名、安全・適正就業委員一名、事務局三名の六名で構成され、各委員の視点や発想をもとに意見を出し合っており、皆様に興味を持って読んでいただけるよう編集しております。

紙面が限られているため、思うように伝えきれない部分もありますが、なるべくわかりやすく、写真を多く取り入れて、明るく楽しい紙面づくりを目指し、力を合わせて頑張りたいと思っておりますので、これからもご協力よろしくお願いたします。



企画提案  
方式事業

はこシル・エコロジー推進事業

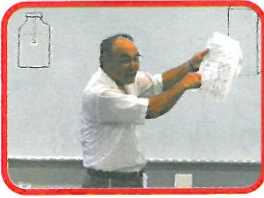
夏休みものづくり体験

今年度から、新たな事業として、小学生を対象とした「ものづくり体験」がスタートしました。

年三回、夏休みと冬休み期間を利用して、不用品を使ったものづくりを行う企画です。

第一回目は、八月九日(金)に「牛乳パックで灯ろうを作ろう」と「ペットボトルで温度計を作ろう」を開催しました。

参加した小学生は、講師の先生の話聞きながら真剣な面持ちで、試行錯誤して取り組んでいました。



牛乳パックで灯ろうを作ろう



ペットボトルで温度計を作ろう



〈実施日〉平成二十五年八月九日  
〈参加者〉十四名  
〈講師〉山本 勝太郎 氏  
※次回は冬休みに開催します。

堆肥・腐葉土作り

函館市赤川町で、堆肥・腐葉土作りを始めました。

来年、市内小学校への配付や市民への販売を目標としております。



電話番号、  
確かめていただけますか？

最近、当センターの電話番号と似ている番号の方から、「間違い電話がかかってきて、確認せずに一方的に話し出すので困る」との連絡がありました。

電話をかける時は、必ず番号を確認し、当センターにつながることを確かめてから話を始めるようお願いいたします。

◇配分金支払日◇

8月分	九月二十日(金)
9月分	十月十八日(金)
10月分	十一月二十日(水)
11月分	十二月二十日(金)

なお、振込口座の変更・解約等がある場合は、必ず事務局に連絡願います。連絡がない場合、振込日に入金されないこともありますので注意してください。



謹んでお悔み  
申し上げます

鶴喰 哲夫さん(七一歳)  
4地区4班 8月24日

あとがき

政権交代後、私たちの取り巻く生活環境がますます厳しさを増しつつある。◆社会保障制度の改革で、命と健康を守る医療の見直しである。特に、七〇歳から七四歳までの医療費の窓口負担が一割から「二割負担」に引き上げられる予定である。今度の改革では、既に特例措置の対象になっている人の負担が増えないものの、二〇一四年度にも「二割負担」に引き上げられ、高齢化で慢性疾患や複数の病気を抱えた場合の二割の負担は余りにも大きい。◆社会保障制度の改革の財源として「消費税増税」は不可避のことである。買物のたびに納税する消費税の増税は、不愉快な思いである。所得の増えない増税による生活への影響が大きく、それに対する具体的な対応策を是非考えてもらいたいものである。◆また、円安や原材料価格高騰等に伴う「食料品」や「電気料金」の値上げである。最近、このような生活を脅かすニュースが後を絶たない。私たちの家計も見直す時が目前かと思えば残念でならない。(山本)